

# 札幌社保協 FAXニュース

2015年 1月30日(金)  
社保協事務局 発行  
TEL823-0867 Fax821-3701  
E-mail:s-syaho@kin-ikyo.or.jp  
http://www.sapporo-syahokyo.jp/

国保・介護・後期  
高齢者110番は  
2月26日(木)です

## 年金者組合支部協が 札幌市に要請・懇談

## 高齢者に優しい対応、 介護、国保、年金に



1/27年金者組合札幌支部協議会（仁木 勉会長）は、昨年提出した要望に対する市側の回答を踏まえた懇談会を市役所内で開催し、市内各支部から25人が参加しました。

【除排雪】 市では雪が増えると補正予算で対応しており、抜本的な対策は次の中長期計画で考えたい。

【介護】 次期保険料の見込みは当初案の5300円よりも低くなると思う。低所得者保険料軽減は国の政令に基づいて行う（市の独自軽減はしないということ）。要支援の人の総合事業移行は2017年度から開始予定。

既存の業者と専門サービスを確保したい。滞納者への給付制限は245人。認知症などの人への対応は考えている。特養ホームの要介護2以下の入所を機械的に断らないように指導していく。介護の人材確保は不足なので、多くの人に就職の機会をつくるように雇用改善を図ってもらうようにしたい。いわゆる無届の高齢者住宅は194カ所であり、現在実態を調査中。

出席者から介護報酬の引き下げは小さい事業所にとって死活問題なので、国に中止を言ってほしいと述べたのに対し、報酬引き上げは保険料との関係もあり、市としては慎重に判断したい、と回答。

【国保】 年金が下がる中で国保料の負担は大変、他市のように下げられないのかという声に対し、札幌市は平均保険料を上げず、政令市でも下から2番目の保険料と回答。所得に対する保険料が問題と指摘もありました。

【年金】 参加者から年金の引き下げによる生活実態が紹介され、最低保障年金の必要性や年金引き下げの中止を国へ要求すべきであると市側に求めました。市側もマクロ経済スライド実施の考え方は理解していると述べました。年金の株式運用についても、国にやめるように言うべきではないかと多くの声が出されました。

## 厚別区社保協結成総会を開く

1/20かねてから準備を進めていた、厚別区社保協の結成総会が行われ11団体から31人が参加しました。準備を進めてきたいつくしみの会（かりぶ）の河原政勝常務が開会あいさつで経過を説明し、斉藤札幌社保協事務局長が「社保協の役割と地方政治」のテーマで講演。

区社保協の規約や構成団体、役員を確認した後、各団体からの活動報告と、社保協結成に対する期待が表明されました。共同代表には河原常務、村上仁厚別健康友の会会長など4団体から4人、事務局長にはいつくしみの会から工藤隆太さんを選任しました。



## 介護報酬の引き下げ、 介護保険料の引き上げ に反対しよう！

札幌市へ介護保険料引き上げ  
反対の陳情を出しましょう！

当初案の5300円よりも下がる予定ですが、上がることは間違いありません。「これ以上上げるな！」の団体陳情を出しますので、各団体の協力をお願いします。

2/12市議会開会日に、会派まわりを予定しています。

政府は2015年度からの介護報酬を、平均で2.27%引き下げようとしています。中小の事業者の閉鎖や、労働者の失業・離職が進み、利用者の行き場なくなったり、サービス利用ができなくなったりという事態が起こることが考えられます。各団体、地域から介護報酬引き下げ中止の声をあげましょう！

## 2015年度介護報酬引き下げは 断固反対 緊急市民集会

2月7日(土) 18:30~20:00

かでの2・7 820研修室

介護に笑顔を!道連絡会・道労連